

北毛発

真田の足跡 第2部

▶ 9

四万温泉(中之条町)には、当時の領主真田に信之の武運長久を祈り、1598年に建立されたという日向見薬師堂がある。

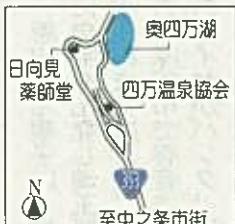
氏との関わりが深くなつていて、
四万の温泉宿は戦国も徐々に広がつていつ

昭事務局長(61)は「その後、宿は他の地区に勢力争いに巻き込まれていつた。しかし90年、北条氏滅亡」に伴い真田

逃れる途中、甚五郎は四万温泉の山口地区にとどまり追っ手を防ぐことになつたという。

四万温泉協会の森博

たようす」と温泉街の城主になると、県北



戦国の世宿広がる

草津温泉とともに、時代、岩櫃城主の斎藤長い歴史で知られる四氏に住えていた田村甚万温泉。豊臣秀吉の天下統一(90年)に伴い、北毛地区における真田氏をはじめとする武田方に敗れた斎藤氏江戸初期にかけて真田が、岩櫃城から越後に

りとされる。63年、真田方をはじめとする武田、上杉、北条という強力な戦国大名によるこの時期に当たる。



真田信繁(幸村)の兄、信之の武運長久を祈り建立された日向見薬師堂